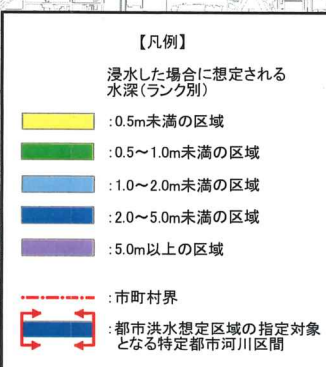
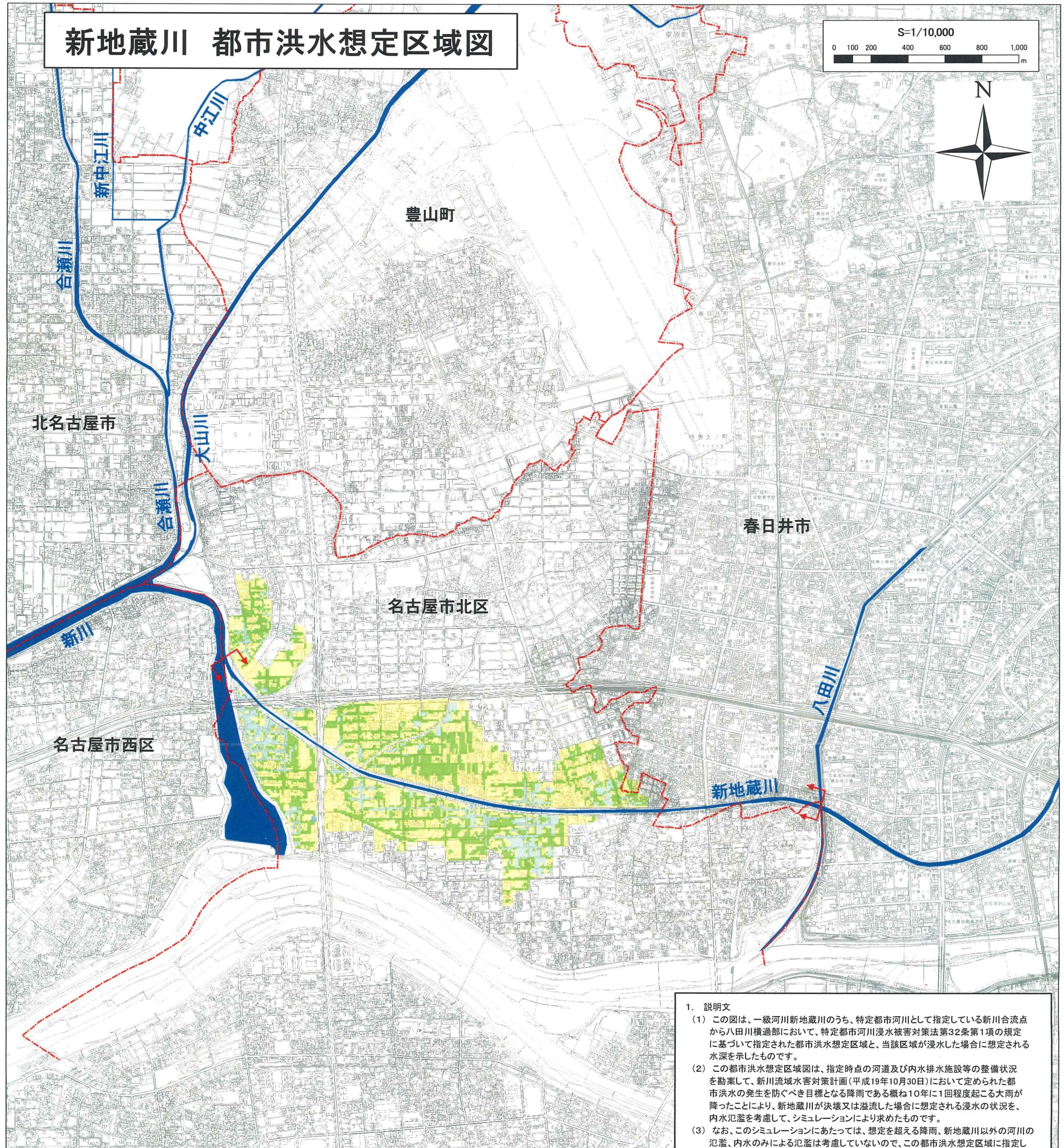


# 新地蔵川 都市洪水想定区域図

S=1/10,000  
0 100 200 400 600 800 1,000 m



1. 説明文
  - (1) この図は、一級河川新地蔵川のうち、特定都市河川として指定している新川合流点から八田川横過部において、特定都市河川浸水被害対策法第32条第1項の規定に基づいて指定された都市洪水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を示したものです。
  - (2) この都市洪水想定区域図は、指定時点の河道及び内水排水施設等の整備状況を勘案して、新川流域水害対策計画(平成19年10月30日)において定められた都市洪水の発生を防ぐべき目標となる降雨である概ね10年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、新地蔵川が決壊又は溢流した場合に想定される浸水の状況を、内水氾濫を考慮して、シミュレーションにより求めたものです。
  - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、想定を超える降雨、新地蔵川以外の河川の氾濫、内水のみによる氾濫は考慮していないので、この都市洪水想定区域に指定していない区域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
  - (1) 作成主体 愛知県河川課
  - (2) 指定年月日 平成20年6月1日
  - (3) 告示番号 愛知県告示第329号
  - (4) 指定の根拠法令 特定都市河川浸水被害対策法(平成15年法律第77号)第32条第1項
  - (5) 対象となる特定都市河川 庄内川水系新地蔵川(特定都市河川指定区間:八田川横過部から新川合流点まで)
  - (6) 指定の前提となる降雨 24時間雨量205mm(中央集中型降雨波形)
  - (7) 関係市町村 名古屋市、春日井市
  - (8) その他計算条件等
    - ① 想定される浸水に考慮した内水氾濫とは、当該区域内で新地蔵川に自然排水されない水路や下水排水管路等の面的排水施設の越水・溢水等による氾濫です。
    - ② 氾濫計算は、都市計画図の地盤高を参考に、対象区域を50mメッシュに分割して、これを1単位として計算しています。
    - ③ 浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水深を算出して、航空レーザ測量結果や都市計画図の地形を考慮して、凡例の想定浸水深のランクによって図化しています。

この地図は、名古屋市、豊山町の各長の承認を得て、同市町作成の1/2,500都市計画基本図を使用して作成したものです。(承認番号 名古屋市(平成19年度19-17号) 豊山町(19豊都第681号))